



3 エコツーリズムにチャレンジ!feat.みしまエコツーリズム

実施団体: Challenge For the Future **参加者:** 小学4～6年生・中学生・高校生 44名
実施期間: (小学生) 令和4年7月17日、(中学生) 令和4年8月21日/報告会
事業内容: 静岡県三島市を訪れ、現地のNPO法人の協力のもと「人」と「水」が共生していくことの意義や必要性を知り、「川・池・湖」などの水を活用することで未来の持続可能な社会の実現につながることを実感してもらうための体験学習を行いました。また、国籍を問わず、水に関連した社会問題に共通認識を持ち、ともに考える場となるように区内のエベレストインターナショナルスクールに通うネパール人も参加しました。

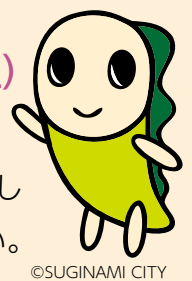
4 すぎなみサイエンスLabo2022

実施団体: NPO法人サイン **参加者:** 小学4～6年生 252名
実施期間: 令和4年6月12日～令和5年2月19日(全10回)
事業内容: 身近な科学を通して自己肯定感を育むことを目的に全10回の科学理科実験教室を開催しました。子どもたちが発信する素朴な疑問や問いかけと一緒に考えながら、成績や評価の無い空間の中で自分自身を解放できる居場所として、将来へのモチベーションや生きていく力、自ら考え行動する力を育む機会を提供しました。

ご寄附の方法

①所定の払込取扱票を使用する(手数料は区が負担)

お近くの郵便局(ゆうちょ銀行)でお手続きください。
 払込取扱票付きリーフレットは、区民事務所等の区立施設に設置しています。お近くにない場合は、児童青少年課までご連絡ください。



②インターネットから申し込む

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」から、お手続きをお願いします。
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/13115>



③現金による寄附、その他の金融機関から振り込む

児童青少年課までお問合せください。
 金融機関からのお振込みは、振込手数料をご負担いただく場合があります。

ご寄附をしていただくと

その1 税制上の優遇措置があります

個人	ふるさと納税として取り扱われます。寄附金額から2,000円を差し引いた額について、所得税・住民税から限度額まで原則として全額控除されます。 ※杉並区は、地方税法(第37条の2第2項及び第314条の7第2項)の規定に基づき、総務省からふるさと納税の対象となる団体として指定されています。
法人	ご寄附いただいた事業年度に、全額を損金に算入することができます。
相続	相続や遺贈によって取得した財産を寄附した場合は、その支出は相続税の対象外とする特例があります。

※詳細は、杉並区次世代育成基金のリーフレットをご覧ください。

その2 お名前を公表させていただきます

「広報すぎなみ」や区公式ホームページ等で、お名前と寄附額を公表させていただきます。(希望者のみ)

その3 事業報告書等をお送りします

1万円以上のご寄附をいただいた方には、基金を活用して実施した事業の報告書や事業実施者が開催する報告会のご案内をお送りしています。

杉並区児童青少年課【受付時間：平日8:30～17:15】
 TEL: 03-3393-4760 FAX: 03-3393-4714 〆: jisedai-ikusei@city.suginami.lg.jp

杉並区 令和4年度 次世代育成基金 活用事業 実施報告書



令和4年度にいただいたご寄附
2,075件 9,773,605円

ご支援ありがとうございました。

杉並区次世代育成基金は、次代を担う子どもたちが、自然・文化・芸術・スポーツなどさまざまな分野における体験・交流事業への参加を通して、視野を広げ、将来の夢に向かって健やかに成長できるように支援するための杉並区独自の仕組みです。



区が助成して実施された民間事業 (杉並区次世代育成基金活用事業助成対象事業)

杉並区次世代育成基金活用事業助成とは、杉並区次世代育成基金を活用して、子どもたちの様々な体験・交流事業への参加を支援する民間の法人や団体が実施する取組に対して助成するもので、平成27年度より開始された制度です。



1 ボールキッズインタビュー「杉並区長に聞く!すぎなみの今」

実施団体: NPO法人マナビエル **参加者:** 小学4～6年生・中学生 27名
実施期間: 令和4年8月16日、30日(2日間)
事業内容: 対話に欠かせない「聴く」力や、相手の言葉や魅力を引き出すコツをプロから学び、区長に直接インタビューを行いました。インタビューを通じて子どもたちならではの視点や発想から引き出された言葉を、参加者が自分らしく表現し、言葉をアウトプットする機会としてオリジナルの広報紙にまとめました。完成した広報紙は区内の小・中学校へ配布しました。

2 「まもりうた」をつくろう～「わたしのこもりうた」作詞作曲メソッド～

実施団体: DA/LEDA **参加者:** 小学4～6年生 20名
実施期間: 令和4年7月17日～8月19日(5日間)
事業内容: コミュニケーション力や自己表現力を磨き、人格の土台となる自己肯定感を高めることを目的に、自分と向き合う方法、言葉を抽出する方法、言葉を音にしていける方法を学びながら、自分だけの「まもりうた」を作るワークショップを行いました。成果発表として参加者が作詞作曲した曲を発表する報告会を行いました。

区が主体となつて行われた事業

1 子ども国内交流事業「杉並区・名寄市子ども交流会」〈児童青少年課〉

参加者: 小学5・6年生 15名
実施期間: (名寄市実施) 令和4年7月28～31日
 (杉並区実施) 令和4年8月5～8日
事業内容: 異なる文化や気候風土、生活習慣などに触れる機会をとおして、体験の幅や視野を広げることが目的に、交流自治体である北海道名寄市と杉並区の子どもたちが、お互いの土地を訪れ交流しました。
 北海道名寄市では「北国博物館」「トロッコ王国」「ピヤシリジャンプ台」「SL除雪列車 キマロキ」などの見学、杉並区では「ダイバーシティ東京」などお台場見学、児童青少年センター「ゆう杉並」でのレクリエーションや思い出クラフトなどをしました。

※子ども国内交流事業「杉並区・東吾妻町子ども交流会」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度の事業は中止としました。

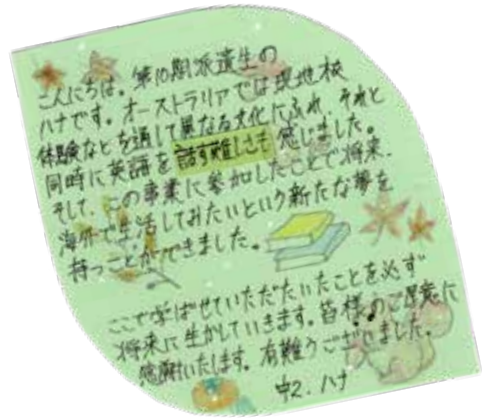
2 広島平和学習中学生派遣事業〈区民生活部管理課〉

参加者: 中学2・3年生 30名
実施期間: 令和4年8月5～7日/事前学習会(2回)/事後学習会/成果報告会
事業内容: 被爆の実態に触れるとともに、現地の中・高校生との交流を通し、平和の大切さについて学ぶことを目的に、広島へ中学生を派遣し、平和記念式典への参列、平和関連施設の見学などを行いました。また成果報告会では、現地で体験したこと、学んだことを報告し、平和のために自分たちができるアクション「平和宣言」を発表しました。



3 中学生海外留学(第10期)〈済美教育センター〉

参加者: 中学2・3年生 28名
実施期間: 令和4年8月12～21日/事前学習会(5回)/事後学習会(3回)/成果報告会
事業内容: グローバル社会の中でたくましく生きるために、豊かな人間性や国際感覚、英語によるコミュニケーション能力など、必要な資質・能力の形成を目指し、杉並区との交流都市であるオーストラリア連邦ウィロビー市への短期留学を行いました。現地では、現地校での授業体験や課題解決学習、ホストファミリーとの交流などの体験活動を行いました。



4 中学生小笠原自然体験交流(第11期)〈済美教育センター〉

参加者: 中学生 22名
実施期間: 令和5年3月21～26日/事前学習会(3回)/事後学習会(3回)/成果報告会
事業内容: 貴重な自然体験や自然に育まれた文化にふれることで、豊かな人間性を育むとともに、環境保全活動の推進役となる世界的視野で持続可能な社会を考えることができる生徒の育成を目的に、世界文化遺産である小笠原村父島を訪問しました。天候にも恵まれ、予定通りシュノーケル体験やビーチクリーニング等を実施することができました。



5 交流自治体中学生親善野球大会〈スポーツ振興課〉

参加者: 中学2年生 29名 **実施期間:** 令和4年10月8～10日
事業内容: 中学生の健全なスポーツ精神を培うとともに、異文化理解・国際理解を深める契機とすることを目的に、杉並区と交流のある台湾台北市・福島県南相馬市の中学生と杉並区の中学生在、区内で親善野球大会を行いました。コロナ禍で見送りとなっていた台湾チーム・南相馬市チームとの直接交流も3年ぶりに復活し、野球を通じて国際交流する貴重な体験を提供しました。

6 チャレンジ・アスリート〈スポーツ振興課〉

参加者: 小・中学生・高校生 延べ181名
実施期間: 令和4年7月～令和5年3月
事業内容: 「夢に向かって自らの意志でスポーツを選びチャレンジする子ども」の育成を目的に、4事業を用意し、オリンピック・パラリンピック種目の体験を通じて、スポーツとの関わり方やスポーツの持つ多様な可能性に気付く機会等を提供しました。
 【第1回】トランポリン、パラバドミントン、ビーチフラッグス
 【第2回】新体操、ゴールボール
 【第3回】陸上競技、ブラインドフットボール
 【職場見学】野球用具企画・生産スタッフ、理学療法士、スポーツ栄養士、スポーツクラブインストラクター、ファミリー駅伝ボランティアスタッフ



7 小学生名寄自然体験交流事業〈生涯学習推進課〉

参加者: 小学5・6年生 25名
実施期間: 令和4年12月24～26日/事前学習会(3回)/学習相談会/学習成果発表会
事業内容: 交流自治体である北海道名寄市で、生活・文化等の違いを認め合う心と探求心、豊かな人間性を育むことを目的に、寒さの厳しい地域だからこそできる様々な体験を行いました。天候にも恵まれ、名寄市の児童とスノーシュートレッキングや雪合戦で交流したほか、博物館で北国の暮らしを学ぶなど、予定していた全てのプログラムを実施することができました。



令和4年12月4日㊤ 杉並公会堂

平成24年度の基金創設から10周年を迎えたことを記念して、基金の取組や制度趣旨、活用事業の内容等をより多くの皆さまに知っていただくための記念式典を開催しました。

杉並区区制施行90周年記念冠事業 杉並区次世代育成基金 創設10周年記念展

- 【展示コーナー】**
- 基金創設からの記録ーこれまでに基金を活用して実施した事業の紹介パネル、動画
 - 【記念式典】**
 - 基金活用事業に参加した児童・生徒による報告、発表等
 - 寄附者による講演(トヨタモビリティ東京株式会社:森博之氏)
 - 記念対談「次代を担う子どもたちのために、いま私たちができること」



佐藤弘道氏×岸本聡子 区長